

令和 7 年石巻市議会第 1 回定例会提出議案について

<市長コメント>

第 1 回定例会提出議案の主な内容について御説明いたします。

初めに、条例議案の主な項目として、「石巻市組織条例の一部を改正する条例」について、御説明いたします。

平時から大規模災害に対する備えを万全なものとするため、新たな部として危機管理部を設置することから、本条例の一部を改正するものです。

次に、「石巻市手数料条例の一部を改正する条例」について、御説明いたします。

本年 4 月以降に着工する建築物についての建築物エネルギー消費性能基準への適合義務付けのほか、本年 5 月以降、本市の全域が宅地造成及び特定盛土等規制法の規制区域に指定されることに伴い、手数料項目の新設や手数料の見直し等を行うため、本条例の一部を改正するものです。

次に、「石巻市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例」について、御説明いたします。

現在 3 か所で運営している稲井地区放課後児童クラブについては、今後、利用定員数に満たない状況が続くことが見込まれており、旧稲井幼稚園への移転に伴い、施設数及び定員数の見直しを行うため、本条例の一部を改正するものです。

その他、条例議案といたしましては、「石巻市桃生勤労青少年ホーム条

例を廃止する条例」、「石巻市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例」、「石巻市消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例」など計14件でございます。

次に、令和7年度当初予算について御説明申し上げます。

令和7年度予算は、「健全で持続可能な財政基盤の確立」を図ることを基本方針とし、「歳入に見合った歳出予算」、「コスト意識の徹底」、「厳選した事業の推進」の3つの方針を掲げ、限られた財源の中、「健全で持続可能な財政基盤の確立」と「施策の推進」の両立を目指した予算編成を行うことといたしました。

それでは、令和7年度に取り組む「6つの重点施策」について、その概要を御説明申し上げます。

一つ目は、「全ての世代が生きがいを持って活躍できるまちづくり」についてであります。

全ての市民が生きがいを持ち、石巻への誇りや愛着を深められるよう、本市最大のイベントである「石巻川開き祭り」をはじめ、魅力ある祭りやイベントの開催により観光誘客を推進するとともに、「ツール・ド・東北」や「いしのまき復興マラソン」、「芸術文化支援事業」として「石巻第九」を歌い継ぐイベントの開催を支援し、『交流人口の拡大』に取り組んでまいります。

また、『豊かな自然の保護と魅力の発信』に向け、「環境基本計画」の策定を進めるほか、『高齢者の生きがいづくり』、『SDGsの推進』にも取り組み、市民が生きがいを持って活躍できるまちづくりの実現に向け、取

り組んでまいります。

二つ目は、「安全・安心なまちづくり」についてであります。

緊急時に備えた避難路整備の重要性については、「令和6年能登半島地震」において再認識したところであり、寄磯浜前浜地区において、引き続き避難路の整備に取り組むほか、緊急冠水対策が必要な地区において、道路改良工事を実施するなど、『災害に強いまちづくりの確立』に取り組んでまいります。

また、高齢単身者や特に配慮を必要とする単身者等を対象に、「公営住宅等見守り連携事業」を実施するなど、『地域共生社会の実現』に取り組むほか、『市民の健康・命を守る医療体制の充実』や『介護従事者の働く環境整備と人材育成の強化』を図り、市民が安全で安心して暮らすことのできる地域社会の実現に向け、取り組んでまいります。

三つ目は、「人口減少対策と地域コミュニティの強化」についてであります。

こどもや若者の意見を聴き取る場を設け、自己肯定感や社会の一員としての主体性を高めるとともに、本市に住み続けたいと思うシビックプライドの醸成を図るため、「こどもまんなか推進事業」を実施し、『出会いから結婚、妊娠、出産、子育てまでの切れ目ない支援』をこれまで以上に推進するほか、『教育環境の充実』に向け、小学生がタブレット端末で、いつでも、どこでも読書ができる「電子図書整備事業」や、「学校給食保護者負担軽減事業」、「保育施設利用者給食費負担軽減事業」に、引き続き取り組んでまいります。

『移住促進と関係人口の創出』に当たっては、「ロゴマーク活用事業」

として、市内事業者によるロゴマークを活用したシティプロモーション活動を支援し、民間事業者と連携して、本市の認知度向上とシビックプライドの醸成を目指すほか、『持続可能な公共交通ネットワークの整備』に当たっては、路線バスの運賃割引制度を創設し、「運転免許証返納者」の移動費用負担軽減を実施、『地域コミュニティの充実と強化』に当たっては、市内全地区での住民自治組織設立を目指し、「ずっと住みたい地域づくり支援事業」に取り組んでまいります。

四つ目は、「産業の発展と雇用創出」についてであります。

産業界は、気候変動や物価高騰の影響など複合的な課題に直面しており、特に、水産業における地球温暖化の影響等による海水温の上昇を踏まえ、海洋環境の影響を受けにくい陸上養殖の普及を促進するため「陸上養殖システム導入支援事業」として、参入事業者に対し、導入経費の一部助成を実施するほか、本市での開催が4年ぶりとなる「全国鯨フォーラム」の開催支援、石巻市産の木材需要を拡大し、木材産業界の振興を目的とした「石巻市産木材利用住宅促進事業」の実施、東北大学との連携によるイノベーションの創出を目指し、「次世代放射光施設 ナノテラス」を活用できる環境の整備など、『地場産業の支援・高度化』に取り組んでまいります。

また、若者や移住希望者を積極的に受け入れるため、農業及び水産業の「担い手センター運営事業」を引き続き実施するなど、『第1次産業における担い手の育成』に取り組むほか、県内外の企業へ私も自ら足を運び、本市独自の助成制度や各種優遇制度をPRし、『企業立地と新規創業の促進』を図るとともに『全世代の就労

対策と支援』を図るなど、本市産業の発展と雇用の創出に取り組んでまいります。

五つ目は、「物流拠点の形成と新たな観光の構築」についてであります。

産業・経済の活性化、観光・文化の振興、災害時の緊急輸送・物流機能の強化といった面において、道路網や港湾の果たす役割は大変重要であることから、石巻港の機能強化に向け、官民を挙げた要望活動を行い、利用促進を図るため、港湾管理者等と連携したPR活動を展開するほか、石巻新庄道路の早期実現に向け、関係自治体と国・県への働きかけを進めるとともに、国道108号石巻河南道路の整備を促進し、『物流機能の強化』に取り組んでまいります。

また、日本遺産「みちのくGOLD浪漫」に「金華山道」及び「金華山詣」が追加認定され、金華山への来島者が増加している状況を踏まえ、「金華山航路定期運航支援事業」を実施するほか、中心市街地への新規出店をワンストップで支援する「街なか出店サポート業務」の実施、首都圏をはじめ県外等で開催される物産展等のイベントに出店する事業者に対し、「物産展等参加支援補助金事業」を実施するなど、『新たな観光資源の構築と情報発信の強化』に取り組んでまいります。

六つ目は、「広域連携体制の強化」についてであります。

全国的に人口減少、少子高齢化が進んでいる中、各市町が有する機能、資源を有効活用し、住民が安心して暮らし続けることができるよう、様々な分野で連携しながら圏域全体の活性化を図り、住民はもとより移住者の定住を促進することで、今後も石巻圏域が将来にわたって持続していくため、『圏域における移住定住の促進』、『交流人口の拡大』に取り組む

ほか、

「SDGs シンポジウム」を開催するなど、『持続可能な地域社会の構築』に向け、石巻圏域内の連携を進めてまいります。

また、「行財政運営」に当たっては、動く市長室や、まちづくり懇談会等を引き続き実施するほか、「離島通信環境整備助成事業」を実施し、田代島、網地島における情報格差解消に努めるなど、「市民サービスの向上」に取り組んでまいります。

この結果、令和7年度予算は、「一般会計」が、767億円、
「水産物地方卸売市場事業特別会計」を始めとする
4特別会計の合計が、346億円、
「病院事業会計」が、63億円、
「下水道事業会計」が、142億円、
全会計の総額では、1,318億円の予算規模となっております。

本市の将来を見据え、行財政改革を加速化するとともに、財政規模及び人口規模に見合った予算編成を行うことで、「持続可能な行財政運営」に努めてまいる所存であります。

その他、条例外議案といたしまして、「財産の無償貸付けについて」、「特定事業の契約締結について」など計6件でございます。

以上が、第1回定例会に提案いたします主な内容であります。